



那須町と 近現代の人々

vol.04



白井竹舟
(1906-2002)

4月号は伊王野出身の書家、白井竹舟を紹介します。

白井竹舟は、本名を白井美弘といい、書家・教員として活躍した人物です。明治39年、伊王野村大和須の三森家に生まれました。伊王野尋常小学校、県立大田原中学校、栃木県師範学校（現・宇都宮大学共同教育学部）を卒業すると、黒磯尋常小学校を振り出しに、芦野尋常小学校、芦野青年訓練所、足利市立商工学校（現・栃木県立足利高等学校）、東京都立八潮高等学校で教員を勤め、44年間教員生活を送りました。昭和6年に編さんされた『芦野町郷土誌』には、芦野町青年訓練所の指導員として三森美弘の名が記されています。また同史料には、昭和5年の時点で白井美弘と記

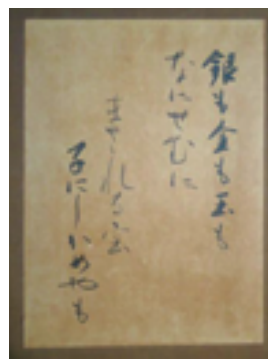
されていることから、この時に白井家に入ったことも分かります。

書家としては、丹羽海鶴（1864～1931）、安東聖空（1893～1998）、高塚竹堂（1889～1968）らに師事し、書の腕前を磨き上げました。昭和25年から43年までは、日本美術展覧会（日展）に出品を続け、昭和41年から47年には、NHK高校書道放送講師として出演するなど幅広く活躍しています。昭和50年には、古希記念個展を日本橋三越本店特選画廊で開催し、昭和63年には第一次自選書展を、平成6年には米寿記念個展を銀座鳩居堂にて開催するなど、精力的に個展を開きました。また、昭和55年には『暮らしの中の書』を刊行（帯は松下幸之助）、昭和58年、月刊誌『書の泉』を発刊するなどしています。

竹舟の郷土への思いは強く、町制30周年には、書を町へ寄贈しました。現在でも伊王野

公民館和室や芦野公民館入口では作品を見ることができま

す。現在、那須歴史探訪館では、「没後20年 白井竹舟と暮らしの中の書」と題してトピックス展を開催しています。「読めて分かりやすい、心あたたまる書」をモットーとした白井竹舟の書をぜひご覧ください。



問合せ 那須歴史探訪館
☎747007



この冬何度も雪に覆われた庭のパンジーやビオラが、葉を広げて次々に花を付ける姿を見ると、春の訪れを感じます▼取材に行った大同保育園の修了式では、年長児が凛々しい顔で席に着き、保育証書をもたらったあと、保護者へ感謝を伝えました▼式では目を潤ませていた保護者や職員でしたが、最後は晴れやか

な表情を見せました。友だちと一緒にたくましく成長した子ども姿を見て、園で培った力や、友だちや先生との思い出が、将来の支えになると感じたからではないかと思えます▼桜の開花とともに迎える新年度。保育園や幼稚園を所管することも未来課は、町の機構改革により町部局から教育委員会部局へと移管されます。園児がスムーズに小学校の生活に慣れることができよう、園と小学校の連携をさらに強化するためです▼学校生活への期待に胸を膨らませる園児。同時に、小さな胸に押し寄せる不安や緊張、とまどい。その姿は、勢いよく顔を出したあうなチューリップの芽と重なります▼園から小学校へのなめらかな接続により、かわいらしい芽がグングンと茎を伸ばし、それぞれの花を咲かせ、球根に力を蓄える。そんな春になることを期待しています。

こんにちは 赤ちゃん



令和3年8月26日生

高久 夏一くん(田中)

父 喜之さん
母 桃子さん

夏一くんは…

ねえねがいつも絵本を読むと泣き止みます！ねえね大好き♪

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口 (3月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

●世帯数	10,486世帯 (-18)	出生	3人 (-3)
●人口	24,486人 (-47)	死亡	35人 (+4)
		転入	52人 (-21)
		転出	66人 (+13)
		その他	3人
	男 12,195人 (-21)		
	女 12,291人 (-26)		